

入院診療計画書 「

さんへ」

(病名) 新生児感染症 (症状)

(説明日) 年 月 日

(本人・家族)

確認サイン

経過	入院時	コット(赤ちゃん用ベッド)へ移るまで	退院にむけて
到達目標	・全身状態(呼吸・循環・体温)が安定する	・感染が落ち着き、コットへ移ることができる	・育児者が基本的育児手技を習得し退院後の生活についてイメージができる
日時	年 月 日	解熱し、炎症反応が落ち着いたらコットに移ります	推定される入院期間は 日間です 退院予定日: 年 月 日頃
治療薬剤 (点滴・内服)	必要に応じ、酸素投与を行います 点滴を行います 検査結果により、必要時黄疸に対して光線療法を開始します	呼吸状態が落ち着いたら、徐々に酸素を減らし中止します 炎症反応が落ち着いたら抗生剤を中止します	抗生剤終了後、検査結果次第で退院となります
処置	保育器に入り、管理します 心拍や呼吸状態を見るためにモニターを装着します 毎日体重を測定します	体温に注意しながら、コット移床にむけて保育器の温度を下げていきます	保育器からコットに移ります 
手術	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有 (術式:)		
検査	血液検査、細菌培養検査、尿検査、レントゲン検査を行います 検査所見によっては、髄液検査を行う場合があります 	適宜血液検査を行います 同意が得られましたら、先天代謝異常検査を行います	同意が得られましたら、聴覚検査を行います 先天代謝異常検査(抗生剤終了後、3日間経過して採血します) 結果が届くまで2~3週間かかりますので、結果の説明を外来で行います。
安静度・リハビリ (OP・PTによる指導も含む)	保育器に入り、全身管理します	状態が落ち着いたら、抱っこや直接授乳ができます。	全身状態が落ち着いたら、コットに移ります
栄養	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 点滴で栄養を補給します 	全身状態が落ち着いたら、母乳又はミルクを開始します	母乳又はミルクの量を少しずつ増やし点滴での栄養を中止していきます 直接母乳を飲ませる事ができます 
清潔	汚染したところを部分清拭します	毎日全身を拭き、清潔を保ちます 点滴がとれ、医師からの許可がでたら沐浴を開始します	毎日沐浴します 
排泄	尿量に注意しながら、こまめにオムツを交換します	こまめにオムツを交換します 状態が落ち着いたら、看護師と一緒にオムツ交換をします	直接オムツの交換ができます
患者・家族への説明	主治医が入院治療計画や病状について説明します 看護師が入院に際して、必要な事項や入院生活について説明します 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください	状態によって、医師から病状の説明・治療方針の説明を行います 看護師から赤ちゃんの様子やケア内容の説明を行います ご相談しながら退院後の生活について説明していきます	退院後の生活について説明していきます (環境・栄養・清潔・沐浴・成長発達・受診・点眼・その他) 必要に応じ育児指導を行います 

※ 症状により、予定と異なる場合があります。わからないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ねください。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 看護師署名

担当者署名